

BAINCOUTURE

02	MISSION ミッション
04	CONCEPT コンセプト
08	BAINCOUTURE Magazine バンクチュールマガジン
14	RESIDENCE CASE STUDY 住宅施工事例
36	bath side バスサイド (洗面)
38	HOTEL CASE STUDY ホテル施工事例
42	Maison de Baincouture メゾンバンクチュール
48	SHOWROOM ショールーム
56	PARTS AND ACCESSORY 推奨部材
58	RESONANT BRAND 共鳴するブランド
60	TECHNICAL DATA 技術資料
62	UNIVERSAL DESIGN ユニバーサルデザイン
64	CONFIRMATION AND NOTES / INFORMATION 設計の確認事項 / 安全に関するご注意 / お問い合わせ

Mission

お風呂に感性を吹き込む

私たちはお風呂を創るという行為自体が、楽しく心が豊かになる特別な体験であると考えます。お風呂の「時を仕立てる」ブランド、それが BAINCOUTURE です。

BAIN = お風呂(仏) 発音：パン
COUTURE = 高級な仕立て(仏) 発音：クチュール

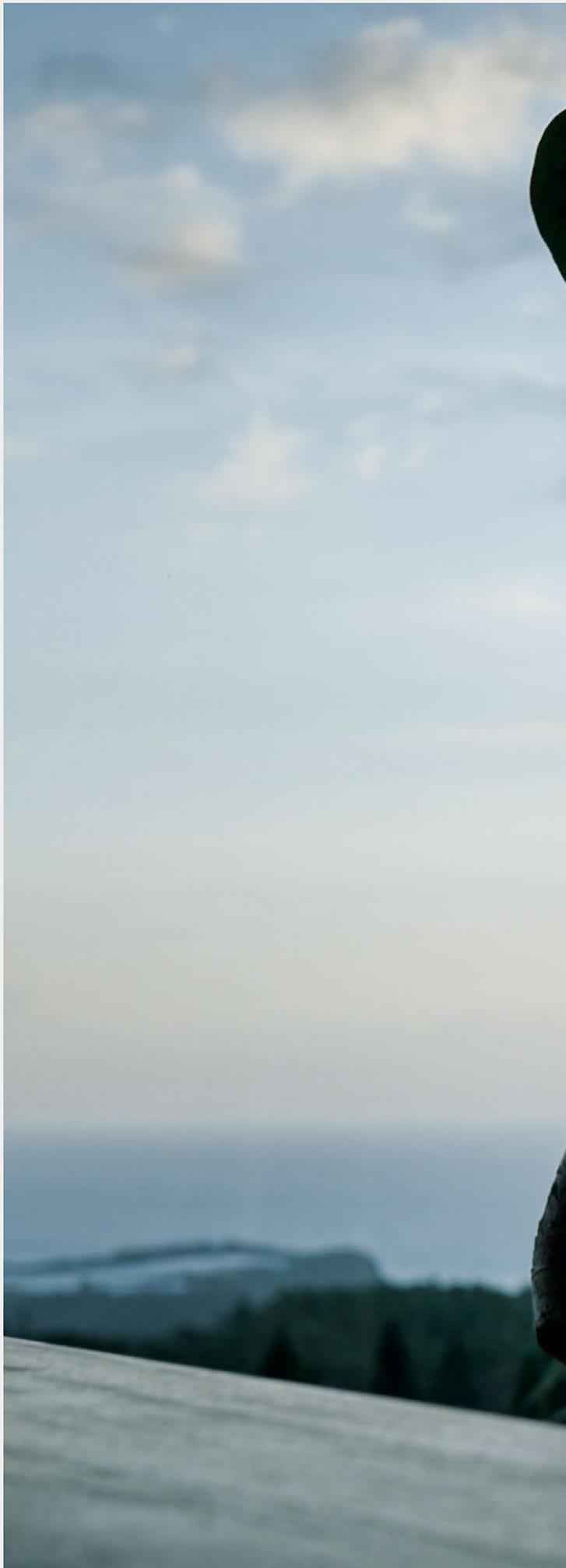


Concept

bath side living

BAINCOUTURE が目指しているのは、単なる箱(バスルーム)ではなく入浴前後の時間と空間を含めた新たな過ごし方そのものを創ることです。







BAINCOUTURE Magazine™

BAINCOUTUREでは、お客さまにより豊かな体験を提供していくためには、お風呂の価値を私たち自身でもっと拡張する必要があると感じています。「BAINCOUTURE Magazine(バンクチュールマガジン)」は、あらゆるボーダーを越えて活躍するプロフェッショナルの感性をお風呂に吹き込み、表現することで、新しいバスカルチャーを創ることを目指します。

お風呂に入る全ての人に向けた新しいお風呂のライフスタイルマガジン。この連載は、そんなBAINCOUTUREの制作チームによって、さまざまな業界でご活躍されている方々の理想のお風呂を伺い、表現してみようという企画です。現実にとらわれず、自由に新しいお風呂の一部をご紹介します。



<https://magazine.baincouture.jp>



岩佐さんへのインタビューからBAINCOUTUREがCGパースを制作

季節に合わせて温室をスタイリングする、 オアシスのようなお風呂

岩佐知布由 インテリアスタイリスト

私は街の銭湯がすごく好きなんです。銭湯って開放感があっていいですよね。室内銭湯でも天井が高く気持ちいいし、壁画も銭湯によって異なるので、まるでアートを楽しむみたいに壁画を眺めに行ったりもします。露天風呂や屋外のリクライニングチェアから都会の空を眺めるのもいいし、室内に池があるような銭湯もあったりして、もはや銭湯って一つの文化だと思います。

理想のお風呂だと、室内に緑豊かな温室があるようなお風呂がいいなと思いました。私は景色が眺められて視界が開けているような温泉や銭湯が好きですが、自分の家で考えると、むしろ囲われた箱のなかで自然を感じられたり、安心感があるようなお風呂がいいなと。お風呂自体は大きくなくてもよいので、温室を広くした方が植物にとっても心地がよさそうです。温室の天井に窓があれば浴槽に浸かりながら空が見えて、タイミングがよければ満月が見られたり。それだけで豊かな時間になると思います。この空間だったら、アカプルコチェアが似合いそうだと思います。温室の緑にも合うだろうし、バスタオルを敷いてお風呂上がりにもそのままくつろぐこともできそうです。

いわさちふゆ | 1985年茨城県生まれ。専門学校でインテリアデザインを学び、会社員やアパレル販売等を経て、スタイリスト石井佳苗氏に師事後、独立。空間や物と暮らしにまつわるスタイリングをおこなう。インテリアスタイリストという仕事についてや、暮らしとも密接な関係にあるお風呂体験などについて、様々なインテリアを見てきた岩佐さんならではの視点でお話を伺った。



龍崎さんへのインタビューから BAINCOUTURE が CG バースを制作

仕事や創作のために楽しく籠れる、 アトリエのようなお風呂

龍崎翔子 ホテルプロデューサー

私はいわゆる温泉旅館などに、お風呂を楽しみに行くということも多いです。温泉でも入浴体験としてどういうことができるのかを常に考えてしまいます。特に印象に残っているのは、鹿児島にある「忘れの里 雅叙苑^{がじょえん}」という旅館。ここでは「お風呂リビング」という言い方をされていて、リビングとお風呂が地続きになっているのがいいなと思いました。プールサイドならぬ「お風呂サイド空間」があるような感覚。ただ体を洗う場所というだけではなく、もっと生活空間の風景の一部になればより豊かになるのだということも、雅叙苑で再認識しました。自分で作るなら雅叙苑みたいなお風呂がいいなあと、その時に思いました。

雅叙苑に行った時には、執筆の仕事が溜まっていたということもあって、お風呂に入って、そのままバスローブを着て原稿を書くという一日を過ごしました(笑)。でも、それがすごくいい時間で。こういう空間なら気持ちよく楽しめるような気がしています。もう一つ、こういう空間で絵を描いてみたいと思っていました。多少汚れてもそのまま水で洗い流すことができる。アトリエみたいな空間としてもお風呂を使えるかもしれません。そんなお風呂が実現できれば、そのままホテルにしてしまいたいくらいですね。

りゅうざきしょうこ | 1996年生まれ。東京生まれ京都育ち。2015年に水星(旧社名:L&G GLOBAL BUSINESS)社を設立。『メディアとしてのホテル』を掲げ、ブティックホテルブランド「HOTEL SHE.」を京都・大阪にて展開、自社にて所有・経営・運営を行う。これまでも温泉旅館をプロデュースするなど、普段のお仕事の中でもお風呂と深い関わりのある龍崎さんに、記憶に残るお風呂体験を伺った。



島田さんへのインタビューからBAINCOUTUREがCGイメージを制作

室内外を浴槽がつなぐ、 自然を感じる新しいお風呂体験

島田陽 建築家

浴室はかなり重要だと思っています。住宅の機能がどこまでなくなっても平気かと考えてみると、日本人にとっては浴室がない住居は考えられないと思うんです。キッチン機能はデリバリーなどのサービスによって外部化していくことができますが、やっぱり浴槽に浸かるということは寝ることに次に欠かせないんじゃないかと。なので、僕が自分で設計をするときにはいい場所にお風呂をつくるようにしています。いい場所があれば、風通しも日当たりもよくて手入れが少なく済みますよね。

実現できなかったようなお風呂のアイデアだと、自然の中に浴室があるようなことはチャレンジしてみたいですね。庭と一体化するような浴室をつくってみたいなど。現実的なことを考えると、なかなか外にはつくれないですが、地面を掘って露天風呂をつくってみるようなことも面白いかもしれません。タレルの「Heavy Water」でいえば、潜った向こう側に露天風呂のような空間があって、上には空があって、下には水面だけがあるというのがいいですね。同じように浴槽が家の内外をつないでいて、水のなかを潜っていくことで外に出られるような構造は面白いかもしれません。

しまだよう | 1972年神戸生まれ。1997年京都市立芸術大学大学院修了後、直ちにタトアーキテツツ設立。現在、関西を拠点にさまざまな空間体験の可能性を模索する建築家・島田陽さん。前半では島田さんのご自宅の設計についてや暮らしにまつわるお話、印象的なお風呂体験についてのお話を伺い、後半では理想のお風呂について建築家ならではの視点でお話いただいた。

お風呂とアートの可能性 安田悠 油彩作家

お風呂でアートを楽しむという取り組みに対しては、BAINCOUTUREのコンセプトである「使う空間から過ごす空間へ」「閉ざされた空間ではなく開かれた空間」「お風呂空間と住空間をシームレスに繋げる」という言葉を聞いて、確かにそうした視点で考えると、お風呂の中にアートを取り込むこと、生活の導線の中に新しい感性を取り込むことができるのではないかと思いました。

耐水性のセラミックバスアート※については、はじめはあまりイメージができなかったのですが、実際に出来上がったものを拝見すると、キャンパスの原画にはないセラミック特有の発色や素材感が非常に魅力的で、これまでとは違ったアート作品の楽しみ方ができるのではないかと思いました。通常の絵画や立体物の作品を日常的に使う場であるお風呂に設置し続けることは難しいと思うのですが、こうした技術を活用してアートを鑑賞するための新しい媒体を生み出す取り組みには大きな可能性を感じました。実物を見た時にはこんなものがつくれるんだという素直な驚きがありました。実は、実家に帰ると、父親が僕の作品をプリントしてラミネート加工したものをいくつかお風呂の中に貼り付けていて、一瞬それが頭によぎりました(笑)。そう考えると、お風呂の中で絵画作品を飾って眺めるという楽しみ方もありなのかなって。実家のは手づくりですが、今回は「セラミックス × 転写印刷技術」という技術によって、ちゃんとしたかたちになったので、あれが発展したらこうなるのかみたいな感慨深い思いがありました。

僕自身は、元々お風呂に入っている間は他のことができないので時間をもたないという意識があって、普段はシャワーで済ませることが多いのですが…(苦笑)。BAINCOUTUREの日常の習慣的なお風呂という場を様々な角度、視点から想像力をふくらませて考える取り組みには大きな可能性を感じました。「お風呂に感性を吹き込む」というコンセプトも素敵だと思います。身体を洗う、温めるという機能的な部分以外の視点でお風呂を捉えることで、日常の中に豊かさが生まれるというのは、どこかアートに通じるものを感じました。皆さんがお風呂に入る時、「身体を洗いたい」「温まりたい」以外の理由があるとしたらどんな感覚があるのか気になりました。お風呂にまつわる人の感覚や生活スタイルって普段中々聞く機会がないじゃないですか。今は、アートに触れられる機会も多様化しているので、なるべく固定観念に捉われない柔軟なかたちで、作品発表の場を広げていけたらと思っています。

※セラミックバスアート

ニッコー株式会社の陶磁器事業で培ってきた高精度な転写印刷技術と、電子部品等で使用される機能性セラミック基板を組み合わせ、お風呂の高湿度な環境下でも耐える「セラミックバスアート」を開発。その日の気分に合わせてレコードを選ぶような感覚で、アートをお風呂場に持ち込むことができる。(右下画像)セラミックバスアート専用の額縁がバスルームで楽しむためのアートを引き立てる。





やすだ ゆう | 1982年香川県生まれ。何層もの中間色のレイヤーが生み出す水の動き・時間や空間の流れ、風景を連想させる流動的な世界を、印象的なタッチと色彩で描く美術作家。安田さんの作品をお風呂に浸かりながら眺めることで、心身ともにリラックスし、インスピレーションの源泉となる。画像は東京ショールームで開催した安田さんのアート展覧会「あわいを繋ぐ」で展示された原画。東京ショールームでは現在も原画やセラミックバスアートを含む安田さんの作品が展示されている。



RESIDENCE CASE STUDY

BAINCOUTUREがお客さまと共に描いてきた唯一無二のバスルーム。プランの数だけストーリーがある。あなただけの過ごし方を想像してみてください。





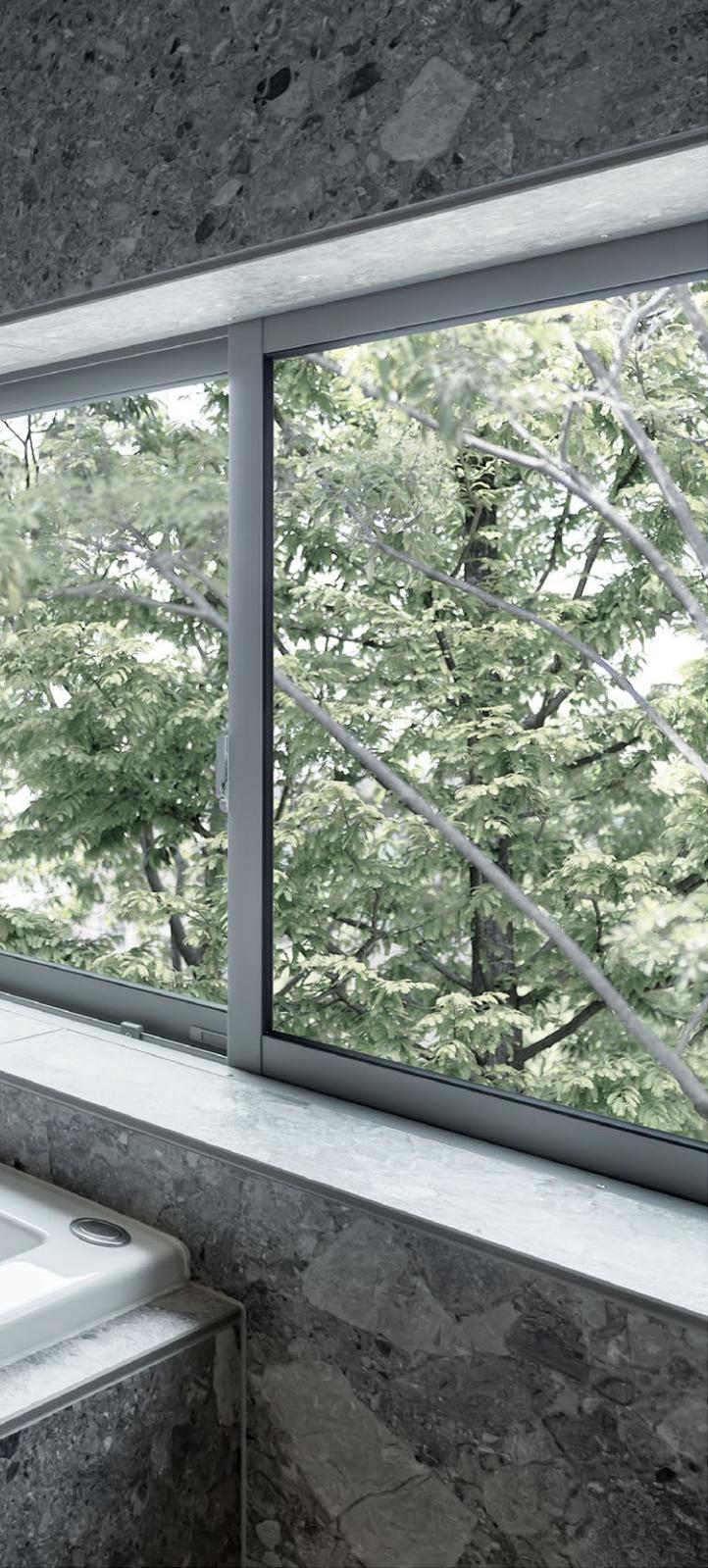
Residence Case Study 01

陽だまりにまどろむ

「休日は少し早く起き、バスルームでゆったりと過ごすのが至福の時間。」そう話すご主人の口元はほころんでいた。「庭の草木の香りを感じながら、あたたかい湯に浸かるのが週末の楽しみなんです。外から小鳥のさえずりが優しく聞こえてくると、心身ともに少しずつ疲れが取れてほぐれていく感覚があります。」穏やかな音や、窓から差し込む優しい光が心地よい空間を生み出している。「バスルームから出てこの椅子に寝転がると、ついうとうとしてしまっ

て。何もしない時間を過ごすことは私にとってすごく贅沢なんです。」バスルームに面した窓から漂う草木の香りが、部屋中に心地よく広がっていた。穏やかな気持ちと共に、日常へと戻る準備を始める姿が想像できた。

慌ただしい毎日から距離を置くこの時間が、心に充実感をもたらしている。ここでは、日常に自然を感じ、気持ちの余白をつくる。せわしない中にも豊かなひとときが流れている。







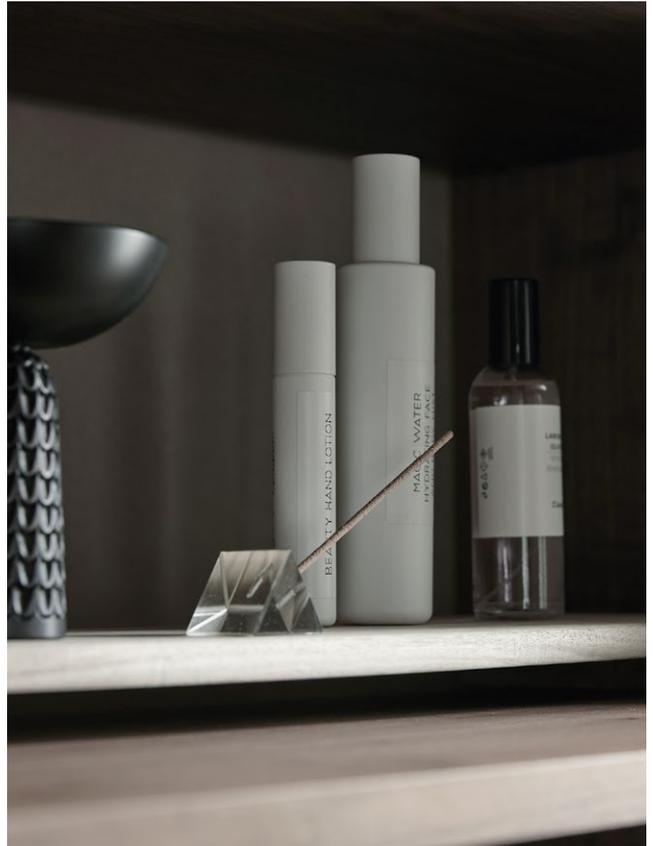


Residence Case Study 02

季節の風を楽しむ癒しの空間

自然を身近に感じられるこの街に夫婦は魅了されている。「いつも駅から川沿いを歩いて帰るんです。少し距離があるのですが、キラキラと輝くせせらぎや、頬にあたる風の感触が心地よくて。」奥さまは帰宅後すぐバスルームへ向かうのが日課。開け放ったバルコニーに面した窓から、夕方の爽やかな風に乗ってほのかに金木犀が香る。陽が落ちた頃に帰宅されるご主人は、入浴後はバスサイドで窓を少し開け、やさしい月明かりの中でほてった身体を涼ませるのが習慣だそう。ほてりが取れると隣接したベッドルームに移動し、そのままゆったりと眠りにつく。バスルームからベッドルームへの動線がスムーズで、就寝の準備や朝の身支度などの何気ない日々の行動を、ストレスなく行えているようだ。夫婦に案内されたベッドルーム。金木犀の香りがここまで届いていることに気がついた。







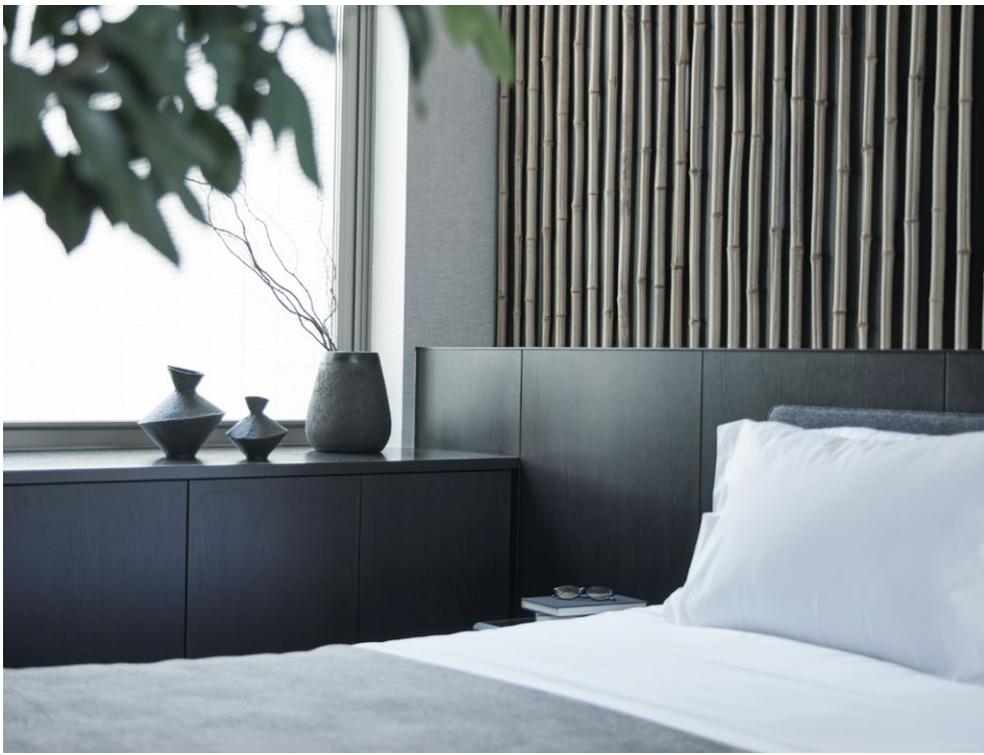


ゆったりと流れる、心地よい汗

「その日の疲れはその日のうちに、汗とともに流してしまいたい。」自宅にサウナを取り入れた男性は、そう言って微笑む。熱い蒸気が体を包むと、心も体も生まれ変わったかのようにリフレッシュされるのだという。

「サウナの中って、スマホとか余計なものを持ち込めないですね。日常の雑音から遮断されるのが良いんですよ。」サウナでのひときは、肌をまとう暑さと流れる汗だけを感じ、無心になれる大事な時間。サウナを出た後は水風呂に身を沈め、ベランダでの外気浴で開放感を味わい、最後にゆったりと湯船に浸かる。この時間こそが最高の贅沢なのだろう。









Residence Case Study 04

柔らかな木漏れ日に包まれる 穏やかな時間

優しい湯の温もりに包まれながら、アートや庭を眺める穏やかな時間。「香りにもこだわりがあって、いくつもエッセンシャルオイルを持っています。今日の気分に合わせて香りを選ぶのがとても楽しいです。」お気に入りの香りに満たされた空間は自分らしくいられる時間を作り出せるという。入浴後はバスローブを羽織り、木漏れ日を感じながら読書やアートを楽しむ時間を大切にしている。「時折外の景色を見渡すと、そよそよと爽やかな風で草木が揺れていることに気がきます。植物たちの柔らかな動きが、私の時間を彩ってくれているように感じるんです。」

安らぎが満ちる、至福の瞬間。



波が織りなす光の演出

海を中心に作った特別な空間。サーフィンが終わった後はすぐシャワーを浴びて浴槽に浸かり、ゆったりと海を眺める。

「この家は、目の前に広がる大きな海をどこからでも楽しめるように設計しました。」そう話しながら特にこだわったというバスルームへ案内してくれた。「どこにいても常に視線の先には海があるんです。水面が陽の光でキラキラ輝いて、時間帯によってはその光が反射して、この空間全体に光のゆらめきが現れるんです。柔らかい光の波が広がる瞬間はとても美しい。特に太陽が水平線に沈んでいく時が、1日の中で最も海が輝くのですが、その光景をこの浴槽に浸かりながら眺める時間は本当に贅沢です。」

これまでのお風呂時間は、体の汚れを落とす場所ではなかった。海が主役になる空間をつくってからは、お風呂で過ごす時間そのものに投資できたことに気づいたという。







Residence Case Study 06

日常の中で叶える気分転換の時間

ここに住む家主は、オフの時間に入る前にはバスルームと繋がるバルコニーを開け放ち、シャワーで仕事の気分を取り払うのだという。

「私にとってのバスタイムは、仕事や日常生活の中で感じたストレスや疲れを忘れ、心ゆくまでリフレッシュする時間です。」そう話しながら、いつも入浴時に聴いているという穏やかな音楽を流してくれた。お風呂に入るといふ何気ない行為が、彼にとっては気持ちを切り替えるきっかけになっていることがイメージできた。バスルームを後にし書斎へ案内されると、そこには趣味の本や雑誌、音楽コレクションが整然と配置され、優しい照明が広がっていた。「ここでは趣味にじっくりと時間をかけて、とにかく自由な時間を過ごすようにしています。そうすることで、次の仕事につながるアイデアが生まれることもあるんですよ。」自身の心と身体を丁寧にケアすることで、新しい一日を前向きな気持ちでスタートできる。



自分の世界へ戻る境界線

この家は全てがブラックに包まれていた。「暗い空間は心が落ち着き、考え事にとっても集中できるんですよ。」はじめはとにかく黒い色が好きな方なのかと思ってしまったが、それは少し違っていた。ブラックに統一された空間に慣れてくると、多彩な色や光は自分にとってあまりにも情報過多だったことに気がついた。シャワールームに入ると、マットなタイルに柔らかく広がる優しいあかりに包ま

れる。シャワーが体やタイルを弾む音だけを感じながら、そっと目を閉じる。「日常生活では、仕事やその瞬間のことばかり気を取られ、つい自分のことが後回しになってしまいます。この家に帰り、まずシャワーを浴びることが自分自身をリセットさせる大事な時間になっています。」外の世界から切り離された自分だけの空間。今日も瞑想の時間を過ごす。





Residence Case Study 08

情緒ある風景を 味わう休日

自身が生まれ育ったこの街がとても好きだと話す家主。休日は決まってバスルームでくつろぐのだという。「景色をのんびりと眺めながら、たっぷりの湯に身体を沈めるのが好きです。この街の雨の景色はとても情緒があって。晴れた日は遠くまで透き通るような景色が広がるんです。」外と中が調和する心地よい空間。ここで過ごす時間が自然と長くなる。



Residence Case Study 09

体と心を見つめるオンとオフ

フィットネスと一体になったバスルームはグレーでまとまったクールで落ち着いた空間。「身体を動かしたあと、すぐにシャワーを浴びられるよう、シームレスな空間にこだわりました。大胆な石目調のタイルと無駄を削いだミニマルな空間の中、自分自身も研ぎ澄まされていくのを感じます。」体を動かし汗をかき、湯船で体をほぐすことは、自分を労るためになくってはならない時間だという。

この家ではお風呂が生活の真ん中にあった。



Residence Case Study 10

グリーンテラスが魅せる 癒しのステージ

グリーンの鮮やかなテラスが空間の一部として溶け込む。「間接照明のほのかな灯りと、窓の外で揺れる植物を眺める時間が、せわしない日常を少しだけ忘れさせてくれます。」少し窓を開けると、透き通るような風が流れ込む。微かに聞こえる虫の演奏が季節の音を運んでくれる。

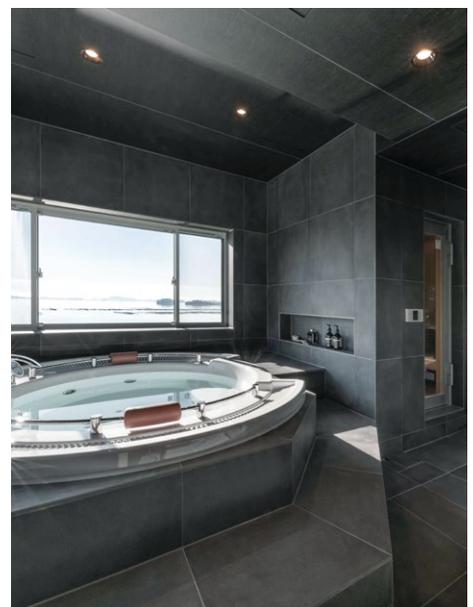




Residence Case Study 11

友と語らう、 オーシャンビューのスパタイム

バスタブへのステップを一段上がると目の前に広がる海の景色。この景色を見るために週末にはこの別荘へ足を運ぶという。「友人を招き、海を眺めて楽しくおしゃべりをしながら過ごすことが多いです。ゆっくりと夕日が沈み、波の表情が目まぐるしく変わっていくのがとても美しいです。」景色を楽しんだ後はサウナで汗をかき、シャワーで流す。特別な休日過ごすようにのんびりとくつろぐ。







bath side

バスタイムの前後もトータルコーディネート

BAINCOUTUREはオーダーメイドのシステムバスブランドです。しかし、お風呂の前後も含めて考えていくことで、より洗練された満足度の高い空間を作り上げることができると考えています。例えば洗面のためのスペース。バスルームとコーディネートを描いてプランニングすることで、お風呂の前後をシームレスに繋ぐ特別な場所に。

また、身なりを整えるだけではなく、バスサイド（お風呂と隣接する空間）で飲み物を飲みながらゆったりと休憩するといった新しい過ごし方を探したい方など、お客さまお一人おひとりに合わせてご提案します。バスサイドの過ごし方を、BAINCOUTUREと共に考えましょう。



HOTEL CASE STUDY



Hotel Case Study 01 | T ホテル

緑、光、風と共生する空間

くつろぎを最優先し、自然素材を使った柔らかな空間と、包み込まれるような優しい色合いで安らぎの時へと誘う客室が特徴のホテル。パウダールームやベッドルームがシームレスに繋がるバスルームは、居心地の良さが感じられ、晴れやかな気持ちに包まれる。





Hotel Case Study 02 | K ホテル

豊かな個性を感じるお風呂たち

このホテルでは、特別なホスピタリティが誘う至極の空間と、自然の恵みを心ゆくまで体感できる。個性ある客室に合わせた表情豊かなバスルームは、訪れるたびに新しい発見と喜びを感じられる。自分に合った空間で、自分らしい過ごし方を愉しむことができる。





Maison de Baincouture

お風呂もその前後の空間も、こだわり抜いたときに見えてくるものがある。研ぎ澄まされた場所で扱うアイテムもまた、あなたの感性をくすぐるものでありたい。BAINCOUTUREは、そんな想いを込めて特別なお風呂用品を取り扱う「Maison de Baincouture (メゾンドバンクチュール)」を立ち上げました。

例えば一本の蝋燭。かつて人々の時間を測る道具としても使われていた和蝋燭に火を灯し、時折静かにパチパチと音をたて、独特の揺らぐ灯りに包まれながら湯船の中でメディテーションを行う。たった10分、20分で、感覚が研ぎ澄まされる、使ってみた者だけがわかる特別な時間をぜひご体感ください。

お風呂での過ごし方そのものに感性を吹き込むことで、 お風呂の可能性を広げる。

日本のモノづくりをプロデュースする河野涼さんをパートナーに迎え、感性やアイデアをぶつけ合いながら創り上げた Maison de Baincouture のプロジェクト。「過ごし方」と向き合うことで醸成していくお風呂の可能性とは。

Maison de Baincouture の誕生と河野氏との出会い

BAINCOUTURE(以降「BC」): Maison de Baincouture で取り扱うアイテムを検討していく上で、見た目や質感、機能はもちろんのこと、作られている背景・ストーリーも含めて商品を選定していこうと話している中、BAINCOUTURE ならではの提案も織り交ぜたいと考えていました。「お風呂空間で使うもの」という枠ではなく、「お風呂の中での新しい過ごし方や習慣が生まれるもの」、そこに BAINCOUTURE ならではの提案ができるのではないだろうか。そんな考えを巡らせていたときに出会ったのが河野さんでした。

河野涼 (以降「河野」、敬称略): 元々、BAINCOUTURE の皆さんが、Maison de Baincouture で日本の職人さんの技術を使ってアイテムをつくりたいと考えておられて、日本のモノづくりの現場を発信するメディア「JAPAN MADE」をやっているぼくたちにお声がけいただいたのが始まりでした。BAINCOUTURE は元をたどると、NIKKO ブランドの陶磁器事業から始まっています。これまでずっとモノづくりに向き合ってきた上で、そこから派生して、お風呂や空間プロデュースまで広がったブランドという背景もあって、打ち合わせの段階から、日本のモノづくりに対する強い想いを感じました。

BC: 今の世の中、機能性を追求したお風呂はたくさんあります。でも、私たちが追求すべきなのはそこではないと思い、BAINCOUTURE では、お風呂の過ごし方の可能性を探求してきました。例えば、かつて日本の銭湯はコミュニケーションの場だったという話がありますが、歴史や昔の習慣を見つめ直していくことが、今の時代の新しい提案に繋がるんじゃないかと考えています。そのような点で河野さんの考えや活動にシンパシーを感じていたのだと思いました。実際に会ってお話した際に、素晴らしい職人さんの活動をもっと世の中に広めたいという純粋な気持ちが伝わってきて、河野さんなら、きっと我々がやっていることも共感してもらえるに違いないと肌で感じました。

日本のモノづくりの本質と新しい過ごし方が生まれた瞬間

河野: 前提のお話として、良質なお風呂グッズが市場にないという課題を BAINCOUTURE の皆さんから聞いていました。BAINCOUTURE でお風呂を仕立てるのは、お家やお風呂に強いこだわりを持った方々が中心です。そうした方々の感性に応える質の高い提案をしたいと考えた結果、単純に入浴のためのアイテムのみを提案するのではなく、お風呂を前後まで含めた



線として捉えている BAINCOUTURE の考えに共鳴するかたちで提案を考えようと思いました。そして、第一弾が和蠟燭に決まるまで、実は色々な案を出しました。シーンは、お風呂に入る前、入る最中、入った後で、そこに春夏秋冬などを絡めつつ、ランドリーボックス、提灯、お香立て等々。色々のご提案をする中で、最終的に和蠟燭にたどり着きました。和蠟燭は元々、「時間を測るためのもの」として使われていた歴史があります。また、蠟燭は仏具としても使われているので、シーンとして瞑想とは相性が良いと考えていました。

BC: 今回、和蠟燭が Maison de Baincouture のコンセプトにハマったのは、本来の時間を測るという使い方に目を付けたことが非常に新鮮に感じられたからだと思います。本来時間を測るものだったという用途から、メディテーション(瞑想)の時間に適した10分、20分という発想が生まれて、それが結果的にプロダクトになった時に、小さくて可愛いという用の美に繋がっていく…

河野: そうですね。当初 Maison de Baincouture のコンセプトを練り上げていく上でも、美しい時間や心地よい時間を仕立てるためには、そこに導いてくれる存在も美しくあるべきという考えから、日本の暮らしとモノづくりにより生まれ今も語られる「用の美」という概念にたどり着きました。実用性の中にある美しさ、フォルムや使い心地などを含めたトータルでの充足感

かわの りょう | 1991年生まれ。合同会社 hyogen 代表。写真、映像の制作からコンセプト設計やコピーライティング、デザインなど、全般的に手掛ける。日本のモノづくりが専門領域で、その持続可能性を探るプロジェクト「JAPAN MADE」の編集長も務める。趣味は香水集めとホテルめぐり。



を追求したいという想いを「美の時へ導く、用の美」という言葉に込め、それが形となって現れたのが、Maison de Baincoutureの和蠟燭誕生の瞬間でした。



手仕事だから実現した細部へのこだわり

BC: 方向性を詰めていく中で、課題もいくつかありました。その一つが蠟燭を使う際に使用する燭台。蠟燭を立てるために上向きに尖っているものを裸になるお風呂空間で使用することがあまりにもミスマッチであり、解決策を模索していました。そこで辿り着いたのが、「自立」する蠟燭です。

河野: 燭台を使わずに自立させる。一見簡単そうですが、そこには職人さんの協力があっての実現でした。和蠟燭の職人さんからしても、このようなオーダーを受けるのは初めてのことだったそうですが、工夫を凝らして、ずんどうで自立をする蠟燭をつくっていただきました。また、要望いただいた10分、20分という時間も長さを調整しながら詰めていきました。試作品をBAINCOUTUREの方々に実際にお風呂で使用していただ

いて、安心感のある大きさや太さ、最適な時間について議論をしながら探っていきました。

BC: 職人さんが一つひとつ手で作っているため、数多く作ることはできませんが、先ほどの自立させることや、この和蠟燭の特徴を表す10、20という数字を入れることも、全て職人さんの手仕事だからこそこまでこだわられたのだと思います。小さい和蠟燭の一つひとつに個性や表情があり、手作りならではの風合いや温かみも感じ取ってみたいと思っています。

使用した者だけが感じる特別な時間、 Maison de Baincoutureの展望

BC: この和蠟燭の使用感は、実際にお風呂空間で使用した方にしかわからないかもしれません。非常に感覚的なので言葉ではなかなか伝わりづらいのがひとつ欠点かもしれませんね(笑)。かつて人々の時間を測る道具としても使われていた和蠟燭に火を灯し、時折静かにパチパチと音をたて、独特の揺らぐ灯りに包まれながら湯船の中でメディテーションを行う。たった10分、20分で、感覚が研ぎ澄まされる、使用した者だけがわかる特別な時間をぜひ体感してほしいです。

河野: 今回のプロジェクトを通して、改めてお風呂ってすごく可能性に満ちていると感じました。お風呂道具をつくるプロジェクトで、和蠟燭をつくる人って中々いないですよね(笑)。でも、お風呂の捉え方を拡張して考えると、新しい可能性が見えてくる。引き続きBAINCOUTUREの皆さんと一緒に、日本のモノづくりとお風呂の可能性を拡張していけるようなプロジェクトに挑戦していきたいですね。

BC: 今回、Maison de Baincoutureの世界観を作り込んでいく上で、私たちが考えているお風呂空間での新しい過ごし方や習慣、その仕草ひとつとっても美しい所作に繋がっていききたい。そんな想いを今回プロジェクトに関わっていただいた河野さんたちの感覚で写真や動画に表現してくれました。新しい何かを生み出すこと。そしてそれを魅力的に伝えていくこと。その両方がとても大事だと思っています。今回ともに考え、歩んでくれたチームで、これからも皆さんの感性をくすぐるモノやコト、そのひと時を醸成していきます。







エッセンシャルオイル

お風呂やパウダールームで使用することで最大限リラックスできる、心と身体を癒すエッセンシャルオイルです。過ごしたい時間を演出する5種類のオリジナルブレンドを仕立てました。森林を散歩するような清々しい気持ちや、広い空を仰ぎ開放感に浸るようなシーンをイメージしてブレンドしています。日々のメディテーションや気分転換にお気に入りの香りを探してみてください。それぞれの香りの詳細はオンラインストアにてご覧いただけます。

香りの種類

Loisir (ロワジール) / Esprit (エスプリ) / Ciel (シエル) / Chatoyer (シャトレイヤー) / Espoir (エスポワール)

uptile アメニティシリーズ

オーダーメイドのシステムバスを製造する際に生じる余剰タイル。それらを粉砕し、リサイクル素材として約50%使用したサステナブルなアメニティシリーズです。余剰タイルのほとんどは埋立てや道路の路盤材として処理される中、BAINCOUTUREでは陶磁器事業で培った当社（ニッコー）の技術を生かし、陶磁器素地としてリサイクルしました。タイルのもつ自然で柔らかな色味は空間をより上質に演出し、釉薬を塗っていない磁器特有のさりとした質感を生かしたアイテムです。

シリーズ

ソープディッシュ / フラワーベース / ディフューザー / ソープディスペンサー / キャンドルボックス





バスタオル

お風呂から出た後、ふわりと分厚く柔らかなタオルで心地よく水気を拭く。ピマコットンという品種の中でも特に優れた品種であるスーパーピマ綿で出来た、最高級グレードのBAINCOUTUREオリジナルバスタオル。水に溶ける糸を使った世界初の特種撚糸工法「スーパー ZERO®」が使用されており、繊維の間に空気を含むことで、毛細管現象でタオルの吸水力・ふかふかとした風合いが格段にアップ。毛羽落ちが少なく、硬くなりにくい素材を使っているため、洗濯後も毛足がふっくら立って吸水性・肌触りが長持ちします。

スツール (大 / 小) / 檜桶

江戸時代から続く桶づくりの技術で仕上げた木曽檜のスツールと桶。職人の手で一つひとつカンナを使って、丁寧に作られたこだわりの一品です。スツールの特徴的なアーチ状の脚は伊勢神宮式年遷宮に向けて造営に使う御神木を切る儀式「御杣始祭(みそまはじめさい)」の際に執り行われる木曽特有の「三紐伐り(みつひもぎり)」という伝統的な木の伐採方法をモチーフにしています。桶は少し小ぶりな直径に仕上がっており、フチに傾斜をつけることで持ちやすい形状となっております。お好きな場所で、木曽檜の香りを楽しみながらお使いください。天然素材の使えば使うほど味わい深くなる経年変化と共に、入浴のひとつときをお楽しみください。

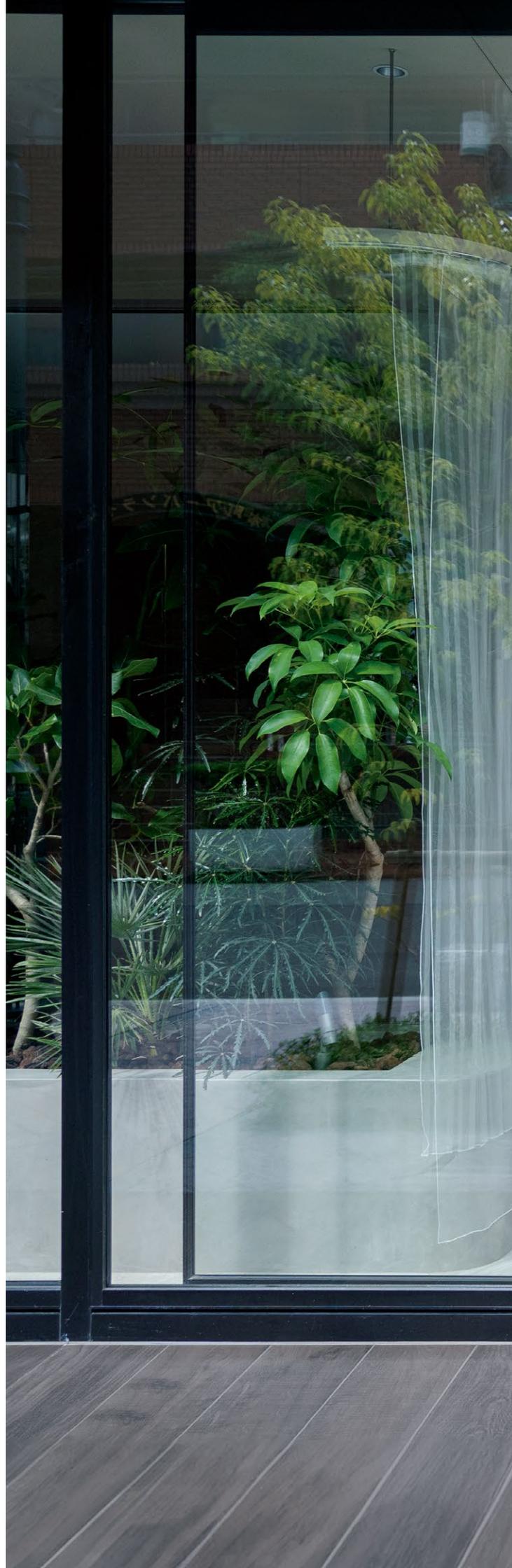


入浴のひとつときを特別にする
バスアイテムオンラインストア



SHOWROOM 一時を仕立てる一

BAINCOUTUREの商品づくりはショールームでの体験から始まります。様々なアイテムに触れながら、これから始まる新しいライフスタイルの想像がふくらむ暮らし方を提案する展示の数々をお楽しみください。



BAINCOUTURE





東京ショールーム

「時」の流れをデザインする

東京ショールームでは、近年の「ホテルライクな暮らし」「サウナ」「アウトドアリビング」といった様々なライフスタイルのニーズをお風呂の前後の動線も含めてデザイン。合同でショールームを運営している株式会社インフィルのオリジナルブランド「INTENZA (インテンザ)」のキッチンや収納を併設し、住空間の中でバスライフがどのように落とし込まれているか、ショールーム全体でお客様の理想の住空間イメージが膨らむような展示を目指し、コーディネートしています。バスルームの隣に、フィットネススペース、リビング、ワークスペースなど様々な過ごし方の可能性をご覧いただけます。また、水栓金具から出る水流を実際に手に触れて体験することができる水栓体験スペースや、サステナビリティを考慮された素材を使ったタイル、また和モダンなテイ

ストのサウナや洗面化粧台も展示されております。入浴前後の時間と空間を含めた新たな過ごし方そのものを創る「bath side living」をコンセプトに、リビングのようにお気に入りのインテリアに囲まれくつろげるような空間を創造します。今までにない間取りのヒントや気づきを与えてくれるようなさまざまなご提案をご体感ください。

東京都千代田区西神田 3-8-1
千代田ファーストビル東館 1F
営業時間：10:00～19:00（予約制）
休館日：土・日・祝日（要相談）
TEL：03-5214-1531







大阪ショールーム

光が差し込む 爽やかな心地良さを体感する

大阪のショールームは、「お客さまとお風呂の『時を仕立てる』心地よいコミュニケーション」をコンセプトにつくられた、理想の過ごし方をじっくりと想像できる空間です。「ホテルライク」や「サウナ」、「石貼り」、「洗面など他空間とのつながり」、「バスルーム × グリーンコーディネート」といった今の時代に求められること、根強く人気のある要素を取り入れた4つのプランを展示しており、よりお客さまご自身が過ごされる空間としてイメージしやすい場所となっております。ショールームの中心にあるコミュニケーションスペースは、水をイメージしたテクスチャードカーテンで囲われており、大窓からの自然光を取り入れながらも外からの視線を遮り、落ち着いた時間を過ごす空間に仕立てました。その他、浴室以外のショールーム全体の内装もモダンに仕上げる中で、センターテーブルにはバスルーム施工時に発生する天然石やタイルの廃材を使用し、有限資源を活用しました。また、エントランス部の壁には洋食器メーカーでもあるニッコーの陶磁器事業で、実際に使用している食器の原料を使用するなど、ニッコーの取り組みや特徴を感じられる要素も盛り込みました。木漏れ日の差し込むバスルームや、家族のための心地よい空間など、お客さまお一人おひとりの理想に合わせた、BAINCOUTUREならではのトータルコーディネートをご提案いたします。



大阪府大阪市中央区北久宝寺町4-4-7
VPO本町セントラル1F
営業時間：9:00～17:00（予約制）
休館日：土・日・祝日（要相談）
TEL：06-6241-8625



名古屋ショールーム

新生活の想像を膨らませる

時代を超えた魅力と新しいスタイルが融合したショールーム。

名古屋ショールームでは「大理石調」「和」「洗面とつながる石目調」「コンクリート調」の4つのコーディネートが展開されており、ショールーム全体を回遊するような動線となっております。実際の空間を体験することで、お風呂やその前後に過ごす時間を想像していただけるよう工夫しております。これまで「理想のお風呂」を具体的にイメージできていなかったお客さまも、きっと自分の理想に出会い、想像を膨らませることができます。

BAINCOUTUREは、商品を製造し取めるというところだけでなく、お客さまと一緒に「イメージを共有しながら、共にデザインしていく」そのプロセスを付加価値と捉え、ショールームでの体験から商品と考えております。実際に手に触れることはもちろんですが、それぞれの展示プランにはペルソナとストーリーが設定されていて、どのようなライフスタイルの中でお風呂を位置づけるかということイメージしやすくなるような場をつくっています。ぜひショールームでじっくりと新しい生活をご想像ください。

愛知県名古屋市中区丸の内 3-5-10
名古屋丸の内ビル 1F
営業時間：9:00～17:00(予約制)
休館日：水・土・日・祝日(要相談)
TEL：052-951-8926





厳選された バスルームプロダクト

BAINCOUTURE では、一つひとつのアイテムを好みに合わせて選択、組み合わせることで自由なコーディネートをお楽しみいただけます。

ブランドサイトでは、BAINCOUTURE が推奨している、機能とデザインが調和した美しい製品の一部をご覧ください。お客さまのご希望にお応えするための豊富な種類のバスルームプロダクトからあなただけの空間を想像してみてください。



WEBページから
ご覧ください。

<https://www.baincouture.jp/business/partsandaccessory>







Resonant Brand

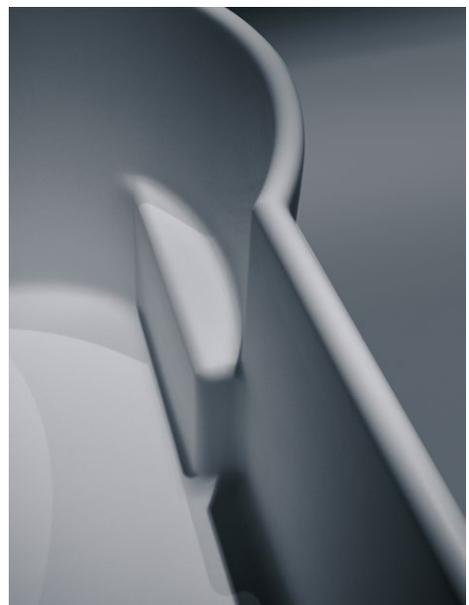
HIDEO

Elegance in Motion.



バススタブの美しさを究極まで追究し、辿り着いた到達点。たおやかなカーブ、洗練された薄さをもつエッジ、浴槽内の小さなアールの美しさにまでこだわった HIDEO のしなやかなフォルムは、大胆かつ繊細なファインアートのような存在感を放ちます。マットな質感、シルクのような肌触りのソリッドサーフェスの置き型バススタブコレクション。それはバススタブの究極の進化形。すべてが置き型デザインの HIDEO ブランドは、バススタブの常識を覆し、それがエレガンスを極めた「高級家具」の一つであることを主張しています。

Elegance in Motion. — 古い殻を脱ぎ捨て、HIDEO のデザインは新たな美の次元へと向かっています。



Resonant Brand

JAXSON

日本古来の風呂文化のモダンデザインの解釈。
そして美しいインテリア。



1982年、日本古来の豊かな風呂文化を背景に、最高の入り心地とデザインを持つバスタブをインテリアとして世界に発信することをミッションに JAXSONは生まれました。創業者でデザイナーの清水秀男がすべてのデザインを手掛け、人の手によるモデリングでのみ表現可能なシャープなエッジと繊細なアールで構成されるシンプルモダンな佇まいが特徴の亚克力バスタブのブランドです。陶器のように滑らかな光沢、究極の入り心地と安全性を両立したデザインのバスタブを、自社工場にて熟練の職人技による真空一体成型で製造しています。



安心のシステムバス

BAINCOUTUREはシステムバス構造でありながら、規格にとらわれずにお客さまの細かな要望に応え、バスルームの企画・デザインから設計、製造、施工まで一貫して行っております。在来工法の浴室同様、壁床共にタイルで仕上げながら、システムバス構造を有しており、防水性能・保温性・品質は高く、長く安心してお使いいただけます。

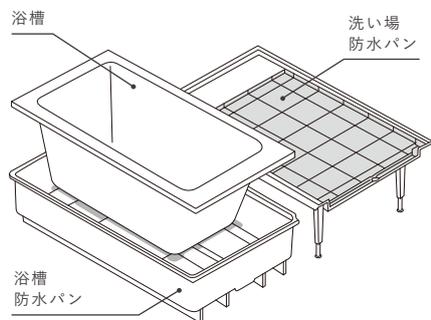
また、新築、リフォーム共に設置が可能です。戸建てから集合住宅、非住宅のあらゆる躯体に対応しています。



システムバス構造のメリット

防水

洗い場パンと浴槽パンはそれぞれFRP製のため、万一浴槽やタイルが割れても、そこから生じる水漏れを防ぎます。



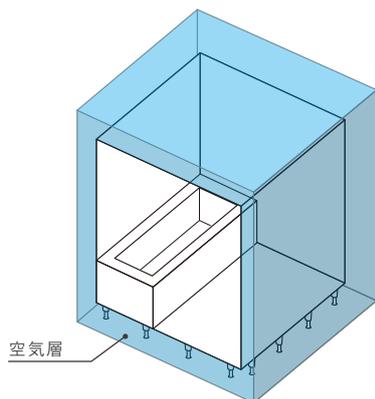
品質

徹底した品質管理のもと、工場パネルや防水パンの製作を行い、建築現場で組み立てられるようシステム化されているため、一貫した高品質が保たれています。また、施工期間の短縮も実現できます。



保温

建築躯体の壁・床から独立して設置しているため、躯体との間に空気層があり、断熱・保温性に優れています。



メンテナンス

各部に点検口を設けているため、不具合箇所の特定制がしやすい構造になっています。万一、トラブルが起きた際にも短期間での対応が可能のため、運営上のリスクが軽減されます。

水栓カウンター部



浴槽エプロン部

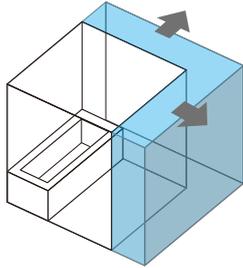


オートクチュールだから 形や大きさも自由自在に

規格のサイズに限定されることなく、建物に合わせて、浴室の形や大きさを設定できるので、空間を最大限に活かすことができます。

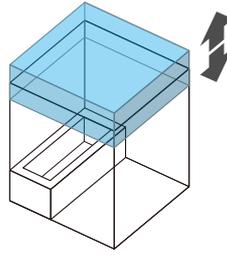
サイズ

ご要望の洗い場スペース・浴槽側スペースのプランニングが可能です。
※50mm単位での設計が可能。



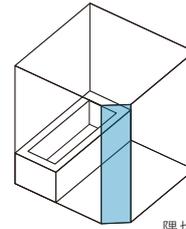
天井高

最大約2550mmまで上げ下げ可能です。
※標準高約2250mm

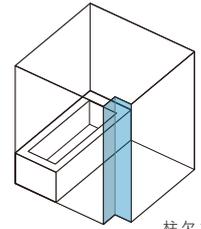


形状

多角形のバスルームの製作が可能です。



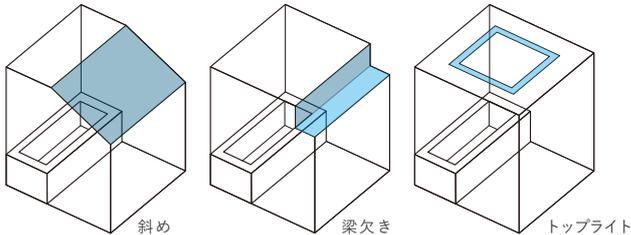
隅切り



柱欠き

天井

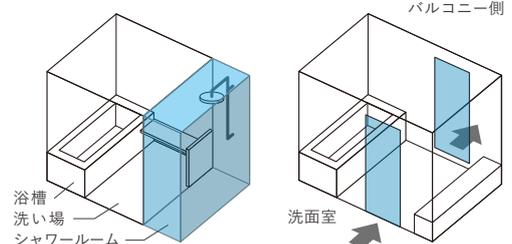
建築側屋根形状に合わせた天井の製作が可能です。



平面寸法：システムバスの内法寸法プラス80mmがシステムバスの外法寸法になり、それにプラス施工スペースとクリアランスを確保し、建築躯体有効寸法内に納まるように設定します。

レイアウト

バスルームにシャワールームを併設したり、バルコニーへ出入りできるバスルームなどライフスタイルに合わせた多様なプランが可能です。



立面寸法：システムバスの天井裏面と建築の天井とのクリアランスは換気扇部を除き150mm必要となります。

BAINCOUTUREの特長

BAINCOUTUREなら、システムバスの安心と、在来工法の浴室の自由設計を同時に叶えることができます。

	在来工法の浴室	一般的なシステムバス	BAINCOUTURE
デザイン性	○	△	○
自由設計	○	×	○
防水	△	○	○
品質	△	○	○
階上設置	△	○	○
工期	△	○	○
保温	△	○	○
メンテナンス	△	○	○

安心の技術資料・図面集 はブランドサイトから

オーダーメイドだからこそ叶う自由な設計と、安全面における優れた品質を持つBAINCOUTUREの基本設計やシステムバスの設置方法などの技術資料や図面集をご紹介します。図面集はブランドサイト内で随時更新しています。

- ・基本設計
- ・システムバスの設置方法
- ・オリジナル浴槽
- ・浴室テレビ
- ・ガラスドア+FIX窓
- ・ガラス片引戸
- ・スタイリッシュドア+FIX窓

図面集は
こちらから



誰もが長く暮らしやすい、 ユニバーサルデザインの バスルーム

いつまでも健康的に過ごすためには、日々の生活の中での細やかな習慣が重要だと考えます。

入浴は身体の汚れを落とすこと、心をリフレッシュし癒すことに加え、免疫力を高め、良質な睡眠を確保することに繋がる大切な習慣です。BAIN-COUTUREでは、大切なお風呂が億劫な存在にならないように、快適に過ごすことができる意匠性の高い心地よい空間と機能を叶えることができます。オーダーメイドだからできる、それぞれのニーズに寄り添ったユニバーサルデザインの一部をご紹介します。



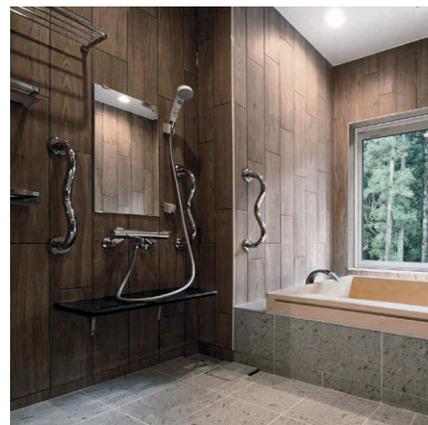
車椅子でも出入りしやすく高級感のあるガラス引戸



座ったままでも体を洗うことができるベンチ



握らなくても操作ができる止水栓



豊富なデザインと設置場所を選べる手すり



入浴時のまたく高さを抑え、座った姿勢のまま入浴ができる浴槽埋込



車椅子の方が座位移動からの入浴がしやすい移乗台



多人数用浴槽+個浴

介護施設のバスルームは、システムバスで美しく快適に。

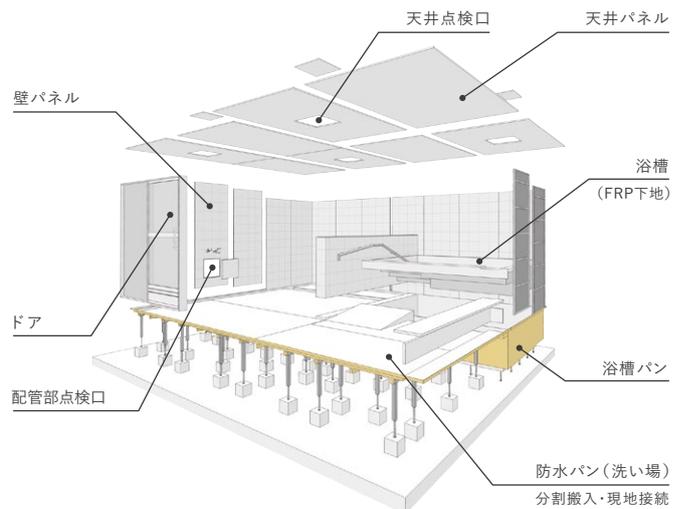
BAINCOUTUREは、住宅で培ったノウハウを元に、従来までは在来工法（湿式）で現場施工するしかなかった介護施設用の大型浴室や特殊な浴室をシステムバス構造で実現することができます。断熱性を高め、品質を一定にすることができるシステムバス構造では、湿式よりも短期間で工期ができるメリットに加え、メンテナンスがしやすい点が施設事業者から選ばれています。介助する側、される側がどちらも気持ちよく過ごせる空間づくりが持続可能な社会づくりに重要だと考え、介護浴室のお風呂にも感性を吹き込みます。



OPEN



大型全開口ドア+機械浴



その他、天井走行リフトや三方介助、全身シャワー浴などの機能部材や、快適な入浴をサポートする多数の事例を紹介しています。

CARE BATH PLAN 介護施設向け
<https://www.catalabo.org/catalog/detail/4855478000>



設計の確認事項

品質保証について

システムバスの品質保証は下記の通りとさせていただきます。

法規制

本カタログ掲載の給水装置は、日本水道協会認定品を使用しております。

※一部の地域では規制を受ける場合がありますので市町村水道局にお確かめください。

アフターサービス規定

- システムバス本体はお引き渡し日より2年間(システムバス本体とは壁、床、天井及び建具材とこれらを組み合わせて箱体を構成するための部品類)とし、防水性能は5年間とします。防水性能とはシステムバスの壁・床から外部への漏水を防ぐ性能をいい、サッシやドア等からのあふれ水や跳ね水は含みません。
- タイル、または目地の割れは、お引き渡し日より1年間、無償修理期間とします。
- 付属品はお引き渡し日より1年間(水栓、照明、ドアロック、鏡等)但し原則として部品メーカーの保証規定に基づきます。

特殊地域でのご使用について

寒冷地：凍結のおそれがある地域では、寒冷地対策が必要ですので、寒冷地仕様の商品を使用してください。

温泉地：温泉水に起因する不具合に関しては保証対象外となります。

免責事項

次の場合は有料修理となります。

- 住宅向けの商品を住宅用途以外で使用した場合の不具合。
- お客さまが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
- メーカーが定める組立説明書等に基づかない取付、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
- 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象。
- 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- ネズミ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。
- 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合。
- 消耗部品の消耗に起因する不具合。

安全に関するご注意

- 商品のご購入の時には、システムバス本体の取扱説明書および付属する器具・部品や設備機器の取扱説明書を必ず受取り、ご使用前によくお読みのうえ正しくお使いください。
- 商品および付属する器具や部品の取付は、ご購入先、または専門業者にご相談ください。
- 電気工事は、関連する法令・法規に従って必ず「電気工事士」が行ってください。
- 電気機器には、専用回路およびアースが必要な場合があります。ご購入先にご相談ください。電気容量が不足すると、火災の原因になることがあります。また、アースの誤った工事を行うと故障や漏電のとき感電する恐れがあります。
- このカタログに載っていない機器や部品をお選びのときは、弊社営業にご相談ください。機器や部品によっては使用できないものがあります。

Information

お問い合わせ

ニッコー株式会社 バンクチュール事業部

東京



大阪



名古屋



お客さまセンター TEL.0120-13-8625

(24時間受付、内容によっては平日の営業時間の対応となります。後程、弊社担当者よりご連絡いたします。※12/31～1/3・8/13～8/15を除く)

